

# オーケストラ鑑賞会

神戸文化大ホール

58・7・12/13



神戸大学交響楽団

指揮 野村 秀彦

神戸市  
神戸市教育委員会

# プログラム

- ♪ ラデッキー行進曲 ……ヨハン・シュトラウス I 世
- ♪ 口笛吹きと小犬 ……プリアール
- ♪ シンコペーテッド・クロック ……ルロイ・アンダーソン
- ♪ 「ハンガリー舞曲」第5番 ……ブラームス

- ♪ 楽器紹介
- ♪ 一分間指揮者コーナー

- ♪ 組曲「カルメン」より 第1番 ……ビゼー
- ♪ 交響曲第5番八短調「運命」作品67より  
第1・3・4楽章 ……ベートーヴェン



## 曲目解説

### ◆ラデッキー行進曲

「ワルツ王」ヨハン・シュトラウス I 世の作ったこの曲は、数あるマーチの中でも特に有名なものです。ラデッキーというのは、オーストリアの将軍で戦勝を記念してつくられました。

### ◆口笛吹きと小犬

これはやさしい描写音楽として誰でも知っている曲で、口笛を吹きながら町を樂しげに歩く若者が、突然小犬にほえられてびっくりします。口笛の音はピッコロで演奏されます。

### ◆シンコペーテッド・クロック

ルロイ・アンダーソンは、「トランペット吹きの休日」などで知られるアメリカの作曲家で、猫の声やタイプライターの音など、楽しい音を使った作品を数多く残しています。この曲も、少し調子のくるった時計（シンコペーテッド・クロック）をユーモラスに表現しています。

### ◆ハンガリー舞曲 第5番

今年が生誕 150年にあたるヨハネス・ブラームスは、19世紀ドイツの生んだ最大の作曲家の一人です。「ハンガリー舞曲集」は彼の友人のバイオリスト、レマーニの助言で作られたピアノ連弾曲集で、今日ではオーケストラ用に編曲されたものが広く演奏されています。この第5番は中でも取りあげられる機会の最も多い作品です。

### ◆組曲「カルメン」より 第1番

歌劇「カルメン」は、フランスの文豪メリメの小説をもとにして作られ、1875年3月3日にパリで初演されました。スペインの煙草工場を舞台として、ジプシー女性カルメン、伍長ドン・ホセ、闘牛士エスカミーリョなどが登場する情熱的な物語ですが、作曲者のビゼーは初演後まもなく37才の若さで亡くなってしまい、広く上演されるようになったのは彼の死後のことでした。

組曲「カルメン」は歌劇の中から有名な曲を集めて作られたもので、今日はその第1番5曲を続けて演奏します。

- 前奏曲（第1幕より）カルメンの運命を暗示する重苦しい曲です。
- アラゴネーズ（第4幕より）アンダルシア地方の民謡をもとにしています。
- 間奏曲（第3幕より）フルートソロの牧歌的なメロディーは印象的。
- アルカラの龍騎兵（第2幕より）ドン・ホセの口ずさむユーモラスな音楽。
- 終曲（第1幕より）歌劇全体の開始に演奏されますが、組曲ではにぎやかに最後をしめくります。

### ◆交響曲第5番ハ短調「運命」作品67より 第1・3・4楽章

ベートーベンの作品の中でも特に有名な曲ですが、交響曲全体を通して見ても、その完成度の高さという点ではこれをしのぐものはないと言われる傑作です。1796年、26才のころから彼は耳の病気を意識しはじめ、一時は死を決意するほどでしたが、そうした苦しみの中で作曲を進めて、1808年の12月に彼自身の指揮で初演されました。「苦しみを経て喜びへ至る」という彼の思想の結実したこの曲は何度聞いても私たちを力強く励ましてくれます。今日は、「運命の主題」で知られる第1楽章と、暗黒から光明へ道を開く第3、4楽章とを演奏します。